

科目名 (英語名)	科学技術コミュニケーション入門 (Introduction to Science Communication)				
単位数	2	配当年次	1	開講時期	前期
対象コース	全コース 学部共通選択				
科目群	【学部共通科目群】				
全教員名	辻 義人				
授業・試験の形式	すべてオンライン				
授業概要	<p>本科目は、科学技術コミュニケーションの理念と実践について、対話式の学習活動を通して学ぶものです。科学技術コミュニケーションとは、科学技術の専門家と非専門家（市民）とを結びつけ、お互いの対話や理解、さらには、連携や協働を実現するための活動です。具体的な取り組みとして、「はこだて国際科学祭」が挙げられます。はこだて国際科学祭は、函館地域において、2009年から活動が開始されました。例年、「環境・食・健康」から一つのテーマを取り上げ、科学技術コミュニケーション活動が行われてきました。2021年度のテーマは、「環境」です。本科目では、はこだて国際科学祭の活動に注目し、(1)なぜ科学技術コミュニケーション活動が必要とされているのか、また、(2)どのような活動が求められているのか、これらを学びます。さらに、履修者どうしの議論を通して、(3)地域社会において科学技術コミュニケーション活動を展開する方法について考えます。</p>				
キーワード	科学技術、コミュニケーション、社会連携、専門家と非専門家（市民）の協働、環境				
到達目標	<p>(1) 専門家と市民の間の対話や学習のデザイン、科学技術コミュニケーションに関する基本的な知識や技能を身につける。 (2) 受講者間において対話や議論を行うことによって、連携的・協働的な活動を体験する。 (3) 本科目で予定している対談講演会、また、はこだて国際科学祭の参加体験に基づき、受講者と科学技術コミュニケーション活動の関係性を検討する。 (4) 今後、受講者が社会に対してできること、やってみたいことについて、プロジェクト化を行う。</p>				
授業計画	<p>本科目は、科学技術コミュニケーション活動に関する講義、ゲスト講師による対談講演会、受講者どうしのディスカッションや協働作業、学習内容の振り返りなどのアクティビティを交えながら実施します。以下に、大まかな学習の流れを示します。なお、ゲスト講師との授業内容の調整、また、受講者の活動進捗によって、内容や構成が変更されることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ガイダンス ・ ゲスト講師による対談講演会 ・ 講義（科学技術コミュニケーションの概念と実践） ・ 議論と発表（受講者の参加経験、期待される活動のあり方） ・ 最終プレゼン（科学技術コミュニケーション活動のプロジェクト化） ・ 授業の振り返り <p>本科目の開講に際して、オンライン形式（zoom等）を予定しています。本科目の開講日程は、三日間です。具体的な開講日時は、夏季集中科目の開講期間（8/23～9/3）から調整を行います。なお、この日程は、はこだて国際科学祭の開催日程（8/21～8/29）と一部重複しています。開講日程について、今後のアナウンスに十分に注意してください。</p>				
事前・事後の学習	<p>本科目の受講に際して、市民を対象とした科学技術に関するイベント（科学館や博物館等）への参加景観があることが望まれます。特に、はこだて国際科学祭では、イベント期間が設定されています（7月中旬～8月上旬）。この期間に、何らかのイベントに参加することを強くお勧めします。</p>				
成績の評価方法	出席状況、講義中の発言や参加態度、講義期間後のレポートに基づき、総合的に評価を行います。				
教科書・参考書	<p>教科書の指定はありません。必要な資料については、適宜、配布を行います。科学技術コミュニケーションの理念や実際に関して、より深い理解を希望する方には、以下の参考書を紹介します。 ギルバート J. K. and ストックルマイヤー S. (2015) 現代の事例から学ぶサイエンスコミュニケーション—科学技術と社会とのかかわり、その課題とジレンマ—, 小川義和・加納圭・常見俊直（監訳）, 慶應義塾大学出版会</p>				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目は、オンライン形式（zoom）で開講する予定です。講義参加に必要な情報（参加URL、参加コード等）は、後日連絡します。なお、受講に必要な環境（端末、アプリ、接続環境等）は、各自で用意する必要があります。 ・ 履修希望者が多数の場合、何らかの方法（抽選、事前レポートの提出等）によって、履修制限を行うことがあります。 ・ 単位認定には、全日程（三日間）の参加が必要です。 				
DSOP対象コース		DSOP科目群			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目は、キャンパス・コンソーシアム函館における単位互換科目、南大阪地域大学コンソーシアムにおける広域単位互換科目です。また、サイエンス・サポート函館における「科学寺子屋」として、函館圏の一般市民が履修します。 ・ 受講可否、開講日程、受講に必要な環境等については、追ってメールで連絡を行います。本科目に関するアナウンスには、十分に注意してください。 				